

# 序章・第一章 「先史時代の文化段階」

初版の序文（1884年）

司会…初めにこの本が発行された意義が説明されている初版の序文を岡本さんにレポートしてもらいます。

岡本…エンゲルスは、唯物論的な歴史研究の成果と関連させて、モーガンの研究の結果から、全意義を明らかにしようとした。マルクスが40年前に発見した唯物史観を、モーガンは北アメリカのインディアンと暮らす中で発見し、未開と文明とを比較したとき主要な点でマルクスと同一の結論になりました。「直接的な生命の生産と再

生産すなわち種の繁殖と、生産手段すなわち衣食住の対象生産とそれに必要な道具の生産である。特定の時代の特定の国の人間が生活する社会的諸制度は、労働と家族の発展段階によって制約される。労働が未発達で、その生産物の量、社会の富が制限されていれば、社会秩序はそれだけ強く血縁的紐帯ちよんたいに支配されて現れる」と言っています。

茂木…「血縁団体に立脚する古い社会は、新しく発展してくる社会的な諸段階と衝突して破碎される」と書かれています。どういことですか。

岡本…生産性の発展に伴い、国家に総

第四版の序文（1891年）

括される新しい社会が現れるが、その下部単位は、血縁団体ではなく、地縁団体だという事だと思えます。

司会…発行から7年、売り切れになるほどの人気だったようですが、村上さんレポートをお願いします。

村上…初版からの家族形態の知識は著しく進歩したので、改定増補しなければなりません。バツハオーフェンからモーガンまでの家族史の発展を概観した理由は、排外主義的イギリス

## ◆みんなの学習講座



の先史学派マクレナンなどが、モーガンの原始史観の変革を黙殺するのが見られるからです。違った考えを対比しながら、正しい考え方を取り出した事になります。

### 1860年初頭までは

家族の歴史など問題にならず、歴史学は旧約聖書の影響下にあり、一夫一婦制、一夫多妻制（オリエント）、一妻多夫制（インド・チベット）の三形態は知られていましたが、1つの歴史の順序と無関係に表れるものとされま

した。

### バッハオーフェンの『母権論』

バッハオーフェンの画期的功績は、血統は元来女系によってたどる以外ありませんが、一夫一婦制になっても長く維持されて女性に高い社会的地位を保証したことを初めて証明しました。

そのため1861年は、「母権」の完全な革命を意味しました。

司会：母権制ができるまでを説明してください。

村上：①当初は、娼婦制という、誤った表現で呼ぶ無拘束の性的交渉の生活を送っていた。②それは父性の確実さを排除するので血統は女系によってのみたどれる。これはすべての古代民族に見られた。③結果として若い世代が唯一の親、母を尊敬、信望し、女性が支配するまでに高められた。④一夫一婦制は時期が限られる女性の肉体提供が必要で、その証拠を古代古典文学に

見出しました。

### J・F・マクレナンの功績

村上：一つは族外婚の普及を指摘しました。二番目は、母権制を本源的なものと認め、母権制から発展してきたという歴史的な観点を指摘した点、しかし、男の血統と相続が認められるようになって、それを適用してしまおうという法律家の偏狭さが、誤りででした。

彼は、一夫多妻制・一妻多夫制・一夫一婦制の3つの婚姻形態しか知らなかったのです。

司会：氏族、部族、族外婚、族内婚等もう少し詳しく教えてください。

村上：氏族がたくさんあって、そのひとつとまりが部族で、マクレナンは族外婚として、部族の外から婦女略奪の形態が、男の親族関係で行われていたと考えていた一方で、別の諸民族では、族内婚として、一定の集団の男たちは自分自身の集団の内部での妻を求

めなければならぬ習慣が並行して行われていたと思つていたようです。

### モーガンが母権制氏族を再発見

イロクオイ族で行われている独特な親族制度が、合衆国の全ての原住民に共通し一大陸全域に普及していることを確信し、アメリカ政府を動かして報告を集めさせ、次のことを見出しまた。

(1) アメリカインディアンの親族制度はアジア、アフリカ、オーストラリアなど多数の部族でおこなわれている。

(2) この親族制度は、ハワイ他でまさに死滅に瀕している集団婚の一形態から完全に説明される。

(3) この婚姻形態と並行しておこなわれている親族制度は、さらに原始的な、今では死滅してしまつた集団婚の一形態からしか説明できない。

モーガンが、文化諸民族の父権制氏族の階段階に、本源的な母権制氏族を再発見したことは、原始史学にとり、ダーウインの進化論が生物学にとつて、マルクスの剰余価値論が経済学にとつてもつと、同じ意義を持ちます。

## 第一章 先史時代の文化段階

### 一 野蠻

司会：「野蠻」について岸さんに説明してもらいます。

岸：…モーガンが専門的知識を持つて人類の先史に一定の秩序を与えようとした最初の人でした。彼のおこなつた分類は今でも有効であろうといつています。分け方は、表にまとめましたので参照してください。

「下位段階」は人類の幼年時代で、樹上生活していたことです。鳴き声とか音節で、仲間に伝えていました。

「中位段階」では、魚類を食べるよ  
うになり、火を使うことを発見しまし

た。

摩擦火を持ったことで新しい食料、根やジャガイモ、キクイモが食べられるようになり、こん棒とか槍も発明されました。

「上位段階」になると弓矢の発明から、狩猟が労働になり役割分担が始まります。獣肉が日常の食料になります。樹上生活から村落への定着、生活資料の生産が熟達します。

定着した村落で食料を生産するようになり、木をくりぬいて容器が作られ樹皮の繊維を使って、袋や体にまとつて寒さ暑さを防ぐ洋服のようなものも作られます。石を磨いて尖らせ、弓矢の先に取り付けて狩猟に使い、木をくりぬいた丸木舟や住居用の角材も作られていました。

司会：…この野蠻の時代を日本でいうと縄文時代より前ですか。

岸：…野蠻の時代は200万年前から1万6000年前と長く続きます。

## ◆みんなの学習講座

主要時期	生産手段の 進歩	特徴
野蛮	下位段階	人類の幼年時代、樹上生活
	中位段階	魚類の食用、火の使用、生活範囲が川岸に沿って地球上に拡大
	上位段階	弓矢の発明、獣肉が日常食になる。狩猟が労働の1つとなり、集団で役割分担
未開	下位段階	土器の製作技術の発明。動物の飼育と植物の栽培
	中位段階	東の大陸では家畜の飼育、西では灌漑による食用植物の栽培、日干し煉瓦と石材の使用
	上位段階	鉄鉱石の溶解方法の発明、表音文字の発明。生産の進歩が進み、英雄時代
文明		天然産物のさらなる加工と本来の工業と技術を習得する時代

モーガンが分類した先史時代の文化段階を本文より作表

地球上に人類が誕生したのが、5000年前で縄文時代は1万5000年前から2300年前です。縄文時代より前だと思います。

荒畑…中位段階になると、火を使つたというのは、すごい発見だと思います。茂木…そうですね、動物は火を使わないうすから。

荒畑…人類は火打石とか、摩擦を起こして火をつけたのですか。

岸…木と木をこすり合わせて火をおこすことを発明しました。

茂木…中位段階あたりから、狩りをするために、こん棒などの道具を使い、火を使うようになったのが人類の発展労働の最初ではないですか。

岸…火おこしを発明し、食べられるものの数量が格段に増えました。

司会…上位段階では、石を割ってナイフのようなものを作っていました。

豊田…石で矢尻を作るんだよね。

茂木…弓矢は、鳥とかも狙える。相当

道具が発達したっていうことですね。

岸…「野蛮にとつての弓矢は、未開にとつての鉄剣、文明にとつての火器に当たるもの、すなわち決定的な武器だったのである。」と書いてあります。人類が食料を得て生き延びる手段を見つけ出したということだと思います。

荒畑…狩猟のときは、集団で獲つていたのですか。

岸…上位段階の狩猟は定住が始まつて、住んでいる人たちが力を合わせて、食料を得ていたと思います。

荒畑…そのころに言葉も生まれたというのですか。

司会…中位から、上位になって音節から言葉が増えてきます。

茂木…村落で定住となると、意思疎通のための言葉も発達してきたのでしょうか。

司会…研磨した石を作りだした上位段階ぐらいから徐々に、母系が始まるのですか。

岸 … 野獸が日常的な食料になり、村落へ定着し原始共産制に近いような、集団生活ができてきます。母系社会が出来上がるのはもう少し先です。次の「二 未開」につながっていくのだと思います。

鈴木 … 自宅の近くの縄文時代の資料館に行った時、茅葺きの家の中に、家族3人で暮らす人形を展示していました。司会 … 私の地元にも貝塚公園があつて、緊湊住居の中に子ども2人と大人の男女が住んでいる設定です。これもおかしいですよ。他にもありますか。荒畑 … 三内丸山遺跡に行った時、縄文時代だから色々な矢尻や編んだ籠の展示があつて、家族は子どもと夫婦がいて、平均寿命が28歳ぐらいのころなのに、おばあちゃんまでいました。雑婚の時代で、一夫一婦制なんてことは考えられないのに、これが事実なのかずっと疑問に思っていました。

司会 … 現在の「家族構成」で展示して

いるという事は、国、権力者が意図的に「太古から家族とはこういうもの」と押し付けているのではないのでしょうか。

## 二 未開

司会 … この未開も、3つに区分されています。労働の発展や生活資源の拡大が、人類進歩に果たしてきたことを各段階で明らかにしています。レポートの小林さん報告をお願いします。小林 … 未開の下位段階は、土器の採用で始まり、東の大陸は家畜として飼育と一つを除く穀物全てを持っていたのです。

西の大陸は、ラマとトウモロコシだけでした。これらの異なる条件により、別個の道を歩むことになります。

司会 … 西の大陸と東の大陸は現在のどこですか。

小林 … 西はアメリカ大陸で、東はユー

ラシア大陸ではないでしょうか。

司会 … 東の方が進んでいたのですね。栽培可能な一つを除く全てを栽培していたと報告していますが、一つは何ですか？

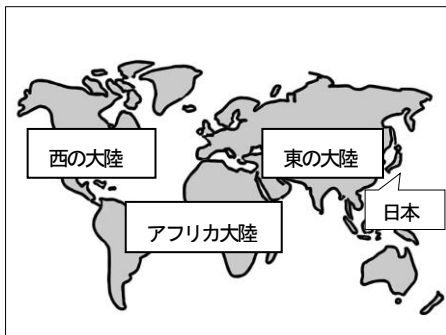
茂木 … 穀物だから、米、小麦、大豆等ではないでしょうか。

岸 … アメリカ大陸が発見された時、ヨーロッパに持って帰ったといわれるトウモロコシではないですか。

小林 … 中位段階のアメリカ大陸では、日干し煉瓦か石材で作った城塞式の家人工灌漑かんがいを施した畑で、主要植物を栽培していました。動物も七面鳥やラマを飼育していました。

ヨーロッパ大陸では、家畜群の形成から、アリア人とセム人が未開人から分離し遊牧生活を送っていました。アリア人はインドの草原や河川の草原で、セム人では西アジアの河の草原での家畜用飼料から穀物耕作が進み、のちに人の食料となってきました。肉

## ◆みんなの学習講座



ヨーロッパから見た大陸の位置

や乳を十分に摂取したことで、他の人種に勝つたのです。

**司会**…肉と乳を摂取したことで頭が良くなるつて、現代の私たちに通じるところがあります。文明が発達するのも食事からなのですね。

**荒畑**…金属の加工は何があったのですか。

**矢島**…未開時代で代表的なのは金銀銅で、主に裝飾品が作られていたようです。武器や道具には使われていなかった

たようです。

**茂木**…武器は石ですよ。矢の先に石をつけていたと思います。

**司会**…中位段階では、金属の加工技術を知っていたけど、武器や生産手段にすることは出来なかったのですね。

**小林**…上位段階は鉄鉱石の熔解を持つて始まり、表音文字の発明とそれの文書記録への利用によって文明に移行します。

この段階になって初めて、家畜に引かせる鉄製の犁頭きまきが現れ、人力用の鉄斧や鉄鋤くわとともに、大規模農耕が可能となり、生活手段の増大となりました。また、人口の急速な増加と小地域での人口の密集化も生じました。それまでは、よほどのことでもなければ、50万もの人間が単一の中央指揮下に結集することはなかったのです。

未開の上位段階の優れているところは、発達した鉄器、ふいご、手びき臼、製陶用ろくろ、(オリブ)油、葡萄

酒の製造や、工芸の域に達するまでに

発達した金属加工、車や戦車、角材や厚板を使った造船、芸術としての建築術の端初、塔や胸壁のある城壁都市、ホメロスの叙事詩と全ギリシャ神話、これらはギリシャ人が未開から引継ぎ、文明に伝えた主要な遺産です。

**司会**…鉄製が、人類に与えた生産手段の発展に著しく係わり、急速に人口が増え50万もの人間が結集したということですか。

**茂木**…50万、今で言えば東京の葛飾区の人口ですね。

**小林**…野蛮と未開をへて文明に至る人類の発展について、エンゲルスが、モーガンに寄りながら素描した光景は、すでにそれだけでも新しい特徴を充分に備えているといえます。

**司会**…ありがとうございます。野蛮と未開の特徴が良く分かりました。

さて、次回は「第二章 家族(前半)について学んでいきましょう。